

・常務理事会議事録(抄録)

開催日：平成 20 年 8 月 31 日(日)10 時～12 時

会 場：第一ホテル東京 本館 4 階 「フローラ」の間

〒105-8621 東京都港区新橋 1-2-6

出席者：理 事 長 門脇 孝

常務理事 岩本安彦 河盛隆造 田嶋尚子

南條輝志男 羽田勝計

幹 事 伊藤博史 植木浩二郎 宇都宮一典

佐倉 宏 佐々木秀行

以上 11 名

1. 理事長活動報告と今後の方針について

①アジアにおける糖尿病対策の中心的役割を担う，②糖尿病の成因の全面的解明・根本的な治療法・予防法の開発を目指す，③糖尿病の学術研究活動の更なる発展，④若手研究者の育成，⑤社会的責務の遂行，を今後の重要な目標として掲げ，これらの達成を目指し，新しく将来計画委員会とパブリックリレーションズ委員会を立ち上げた．河盛常務理事に事務局長を委嘱し，綿田幹事と植木幹事を事務局長の補佐に，事務局次長として引き続き鈴木満知子を任命した．

2. 編集担当常務理事担当案件

出版物の発行，出版社の選択，出版社との出版契約の締結・継続は，理事会の協議・審議事項とすることが了承された．

3. 国際交流担当常務理事担当案件

日本糖尿病協会の IDF への単独加盟について協議し，基本的に了承した．

東京で開催された Asia-Pacific Diabetes Epidemiology & Education Training Course 2008 は，8 月 23 日～30 日，参加者 31 名で，学会および関係者の協力により成功裡に終了したことが報告された．

4. 学術調査研究・教育担当常務理事担当案件

学術調査研究・教育委員会において，今後の調査研究課題のたてかたは，①広く会員から募集する，②本委員会で決定する，③申請による，の 3 通りを主にし，委員の選定についても同様に行うことが了承された．

5. 会計担当常務理事担当案件

会計の内部監査実施の結果，適切に処理されていたことが報告された．世界糖尿病デーへの助成金は日本糖尿病協会寄付口座に振り込むことが了承された．

6. 将来計画委員会報告

年次学術集会のあり方について検討し，学部学生・初期研修医・大学院生の参加費の無料化が提案された．また，第 54 回年次学術集会開催予定地の実地調査の実施，学術集会の新旧会長相互の引継ぎが重要であることが確認された．また，今後の理事会での年次学

術集会運営委員会(仮称)の設置を含めた協議を要望することとした。

7. 「対糖尿病戦略5ヵ年計画」作成委員会報告

前委員会が作成した5ヵ年計画は本年度末で5年を経ることから、来年中には新たな「対糖尿病戦略5ヵ年計画」を作成することが方針として報告された。

8. 協会との連携について

学会・協会同委員会では、「日本糖尿病協会がIDFへ単独加盟する件」について協議し、その結果を国際交流委員会へ伝えた。

9. 学術集会参加費に関する件

将来計画委員会が提案する学術集会参加費の見直しについて協議を重ねた。若手研究者の育成の観点から、学部学生・初期研修医・大学院生への配慮は必要であり、それを無料にする際には、会員への負担増は止むを得ないのではないかとの見解に至り、次回理事会で審議する。

10. パブリックリレーションズ委員会報告

パブリックリレーションズ委員会で、学会の社会的貢献をさらに高めること、また行政への対応力を高め、新薬の承認に向けて積極的に働きかける、などの社会的活動を活発にすることが確認された。

11. 公益法人化に関する件

文部科学省からの連絡通達をもとに、当学会としての今後の対応について協議していく予定。